

きたかみ 市議会だより

Now!

過去最大予算の512億円を審議

～住みよい住みたいの実現へ進化と深化予算～

Kitakami
city council
news



北上市議会
ホームページ



携帯アプリ
マチイロ

議会だより【デジタル版】を無料アプリ「マチイロ」や「ホームページ」で掲載しています。【デジタル版】なら自宅に届くよりも3週間ほど早くご覧いただくことができます。

過去最大予算512億円

『住みよい北上 住みたい北上』 シンカ（進化・深化）予算

令和7年度の注目事業をピックアップ

3月3日～6日に行われた予算特別委員会分科会で審査した中から、各分科会での注目事業をご紹介します。

※各事業の予算額は1万円未満を四捨五入しています。

集落支援員設置事業

485万円

和賀・川東地域の計8地区を対象に、地域づくり組織と共に集落点検を実施し、課題解決の支援を行う支援員を委嘱する。

Q 集落支援員の具体的な業務内容や自治会から出されたテーマによって支援員は変わるものか。

A 集落支援員が実際に課題を解決するのではなく、地域に入り話し合いを促進することが基本的な業務。支援員は出されたテーマに合う人を選任する予定。短期間で変わるのではなく様々な知識がある人を探したい。

AED屋外設置事業

114万円



AEDを2台設置している市内小中学校22校において、2台のうち1台を屋外専用ボックスに設置するもの。

Q どのような場所に設置するのか。今後の設置見通しは。

A 3年間かけて、毎年7基程度を設置する計画で、学校開放している学校を対象に、外での活動が多い所を優先し、順次設置していく。設置場所は普段目に付く、分かりやすい場所を検討している。

拠点間交通運行事業

955万円



令和7年度より、試行的におに丸号口内線の平日毎日運行化を実施予定であり、その委託料を増額計上するもの。

Q おに丸号口内線の平日毎日運行化に至った経緯は。

A 移動の自由を保障するためにも毎日運行すべきという話が出ており、利用者が増加傾向にある口内線において平日毎日運行化を試験的に導入する。あわせて朝の通勤・通学にも利用できるよう運行ダイヤの見直しも行う。

クマ・シカ・イノシシ 対策事業

99万円



放任果樹の伐採などの生息環境管理や、クマの出没原因分析を行うための地域住民との集落点検費用を計上するもの。

Q 伐採、刈払の実施を想定している地域はあるか。また、作業量はどのくらいか。

A 和賀町後藤地区においてクリの木の一部伐採を行っており、令和7年度も後藤周辺を想定している。作業量は伐採が約40アール、刈払が約100アールを想定している。

地域みらい留学事業

157万円



生徒の県外募集を行う高校と、地方の高校へ進学を希望する中学生との合同説明会への参加負担金を計上するもの。

Q どのような目的でこの事業を行うのか。

A 黒沢尻工業高校は県内でも有数の工業高校であり、当市における人材育成を担い、市内企業にも多くの人材を輩出している。現在の人材不足の状況を踏まえ、当市の産業振興においてこの事業に取り組むことが有益であると捉えている。

自治公民館整備費 補助金

600万円



住民の自治活動の助長を図るため、各地区にある自治公民館の建物修繕およびその施設に必要な備品の整備を補助するもの。

Q 令和6年9月の決算審査において、エアコン設置も補助金の対象との話があったが、地域への周知は。

A 毎年4月に各自治協議会を通じて、自治公民館へ補助金に関する案内をし、修繕工事などの要望があれば、9月までに申請をしていた。修繕の対象となる具体例としてエアコン設置に特化した周知は行っていない。

当初予算は内容・分野が多岐にわたるため、予算特別委員会分科会において常任委員会の所管事業ごとに丁寧に審査しています。



北上市重層的支援体制 整備事業

1,759万円

住民が抱える問題が複雑化、複合化している中で従来の支援体制ではケアしきれないケースが発生している。これまで関係機関および地域との協働で個別の支援地域づくりの組織を行ってきたが、さらに個別支援と地域づくりが相互に補完・連携し、より暮らしやすい北上市を実現していくため、社会福祉法に基づき取り組む事業。地域で孤立しているような方が地域とつながるための参加支援事業、課題が複数の分野にまたがるケースや解決が困難なケースに対し、全体的な支援の方法を割り振りする多機関協働事業を新たに実施する。

Q この事業はなぜ、市直営ではなく社会福祉協議会に委託するのか。

A 社会福祉協議会と市が両輪となって進めていくイメージをしているが、社会福祉協議会はこれまで、各相談支援機関とも関わっており、また、地域に出向く事業も行っていてノウハウがあることから社会福祉協議会に委託したほうが良いと判断した。

市民後見人養成・ 育成事業

139万円



成年後見制度の利用促進を図るため、市民後見人養成講座を開催して新たな担い手を確保するとともに、本制度を必要とする方が、必要な時に利用できる体制を確保する。

Q 市民後見人の育成目標人数は。また、来年度の市民後見人養成講座の開催時期は。

A 市民後見人の育成目標人数は、令和7年度から毎年10人ずつ養成し、令和10年度までに40人を目標値としている。令和7年度の市民後見人養成講座は10月以降の半年間の中で40時間の講座を予定している。

賛成討論

全ての予算に賛成

高橋 晃大 議員

令和7年度当初予算は過去最大の512億円で、総合計画5年目として「ひと」「なりわい」「くらし」「しくみ」を基本目標に掲げ、持続可能なまちづくりに向けて子育て支援や産業振興、福祉体制の充実が図られており、新たな事業として産後ケア事業や中小企業支援、障がい者支援体制の強化、集落支援員設置による地域支援が計画されている。特別会計予算には国民健康保険の安定運営や工業団地整備の推進などが含まれており、総合計画に基づくまちづくりを促進する予算案となっている。

反対討論

一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計の予算に反対

高橋 久美子 議員

物価高騰で生活が厳しい中、市民に寄り添う予算になっていない。家庭ごみ手数料は受益者負担だと言うが、ごみ収集は不可避のサービスであり個々の選択で回避できるものではない。任意のサービスに対する支払いとは性質が違い受益者負担ではない。手数料は軽減すべき。国保会計では、子どもが生まれるたびに1万3,300円の均等割負担があり子育て支援に逆行している。数年後に枯渇すると説明がある財政調整基金は10億円以上維持している。年間193万円あれば実現できる小学校就学前の均等割はゼロにすべき。

第301回
2月
通常会議

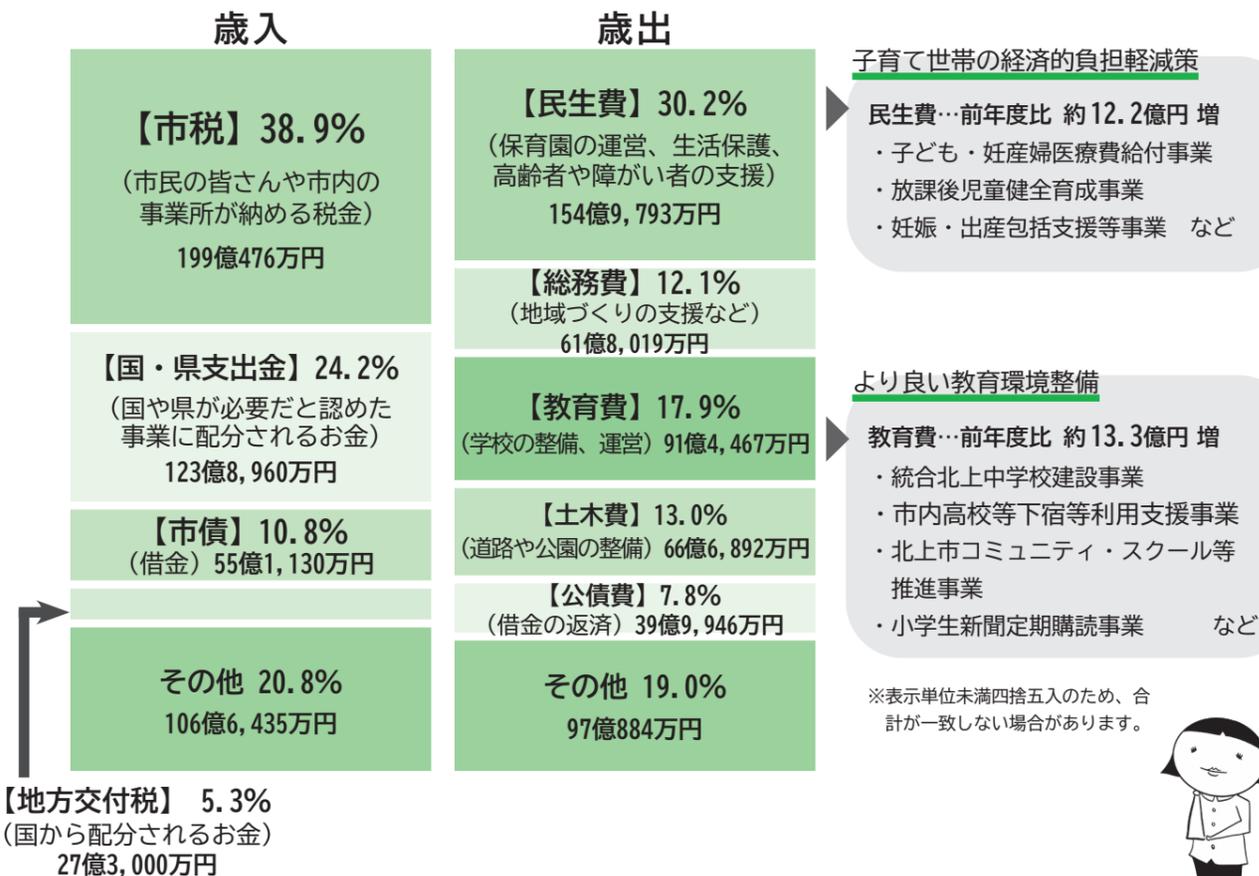
令和7年度予算を可決!!



ユーチューブ
「2月通常会議」

2月通常会議では、議長を除く25名の議員で構成する予算特別委員会を組織し、令和7年度予算を審査しました。充実した子育て支援施策の継続や統合北上中学校の建設事業、工業団地周辺の道路整備事業などにより、**過去最大規模の予算**となっています。

一般会計 予算総額 **512億円**



補正予算

学校施設の活用、老朽化対策に向けた事業を実施

令和6年度北上市一般会計補正予算(第12号)(第13号) 旧黒岩小学校解体事業 (4170万9千円) 校舎・体育館の活用に伴う、給排水設備の移設工事費。

道路除排雪事業(2億円) 2月までの降雪実績と今後の見込による除雪委託料の増加によるもの。

黒沢尻北小学校長寿命化改良事業 (1億8389万9千円) 国の補正予算を活用した長寿命化にかかる工事費などを計上したもの。

江釣子小学校屋上防水・外壁改修事業 (1億5686万9千円) 国の補正予算を活用した屋上防水・外壁改修にかかる工事費などを計上したもの。

飯豊中学校校長寿命化改良事業 (6億4432万3千円) 国の補正予算を活用した長寿命化にかかる工事費などを計上したもの。

予防接種事業 (4273万7千円) 子宮頸がんワクチンの接種見込み数増に伴う委託料の増加によるもの。

道路橋りょう災害復旧事業 (単独) (5856万3千円) 令和6年8月の大雨で崩落した秋田自動車道宮沢橋下法の法定外道路に係る災害復旧費の計上によるもの。



令和7年度北上市一般会計補正予算(第1号) 貨物運送事業者運行支援補助金(臨時交付金) (2488万5千円) 燃料価格高騰の影響を受けている市内貨物運送事業者に、1台あたりに定額の補助を行うもの。

省力化・省エネ設備投資応援事業(臨時交付金) (2000万円) 国の補正予算を活用して省力化・省エネを推進するための設備投資をする中小事業者へ補助をするもの。

公共交通燃料価格高騰対策支援金(臨時交付金) (510万円) 燃料価格高騰の影響を受けている交通事業者等に、タクシー・バス1台あたりに定額の支援金を交付するもの。



条例

「いじめ重大事態事案」が発生した際の調査機関を設置

北上市日本現代詩歌文学館条例の一部を改正する条例 日本現代詩歌文学館の運営面の改善と、質の高い企画展示などの提供の観点から、月曜日を全館休館日にしようとするもの。

Q 月曜日が祝日の場合の対応は。閉館時間を午後10時から午後5時までに変更しているが、夜の時間帯に講堂を使用したい場合の対応は。

A 月曜日が祝日の場合は開館し、火曜日を休館とする。午後5時以降に講堂などの利用予約があれば対応する。

北上市いじめ問題対策連絡協議会等の一部を改正する条例 国の「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」に沿った適切な対応を行うために、いじめで児童などの生命心身または財産に重大な被害、相当の期間、学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあるときなどの「いじめ重大事態事案」が発生した際の調査を行う「北上市いじめ対策専門員会」に代わり、「北上市いじめ調査委員会」及び再調査を行う「北上市いじめ再調査委員会」を設置しようとするもの。

北上市手数料条例の一部を改正する条例 建築基準法および建築物のエネルギー消費性能向上等に関する法律の一部改正に伴い、建築確認申請や省エネルギー消費性能適合性判定手数料など、事務手数料の新設、改正を行うもの。

以上の他、9件の条例が提案され、いずれも全会一致で可決しました。

第300回 1月臨時会議

物価高騰による家計負担軽減へ



YouTube「1月臨時会議」

令和6年度北上市一般会計補正予算(第11号) 物価高騰対応非課税世帯給付金(子育て世帯への加算)(1820万5千円) 令和6年度物価高騰対応非課税世帯給付金対象となつている令和6年度住民税均等割非課税世帯への加算として、当該世帯において扶養されている18歳以下の児童1人当たり2万円を支給するもの。

物価高騰による家計の負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税均等割非課税世帯に対して、1世帯当たり3万円を給付するもの。

北上市議会300回記念



平成3年4月5日に開会した4月通常会議を第1回として、令和7年1月臨時会議で300回の節目を迎えました。これを記念し、第300回記念行事として北上市民の歌「きらめいて」を斉唱しました。

委員会 レポート

常任委員会では、政策提言(*)に向けて行政視察を行いました。各常任委員会の視察概要をご紹介します。

*政策提言とは、議会が主体となって将来の北上市の政策に関する立案を行い、その内容を取りまとめた提言書を市長などに提出することで政策の実現を目指すことです。詳細は行政視察報告書をご覧ください。

ホームページ「行政視察報告書」

総務常任委員会

地域防災力の強化に向けて

11月13日から15日にかけて、栃木県鹿沼市、千葉県原市、静岡県富士市を視察しました。

視察内容

- 消防団を中核とした地域防災力の充実強化について
- 自助、共助による防災体制の強化について(小学校単位での地区防災の取り組み)
- 個別避難計画づくりの推進等について



教育民生常任委員会

困難を抱える子どもの支援は

10月31日から11月1日にかけて、愛知県名古屋市、京都府京都市、大阪府豊能郡能勢町を視察しました。

視察内容

- 子どもの権利相談室「なごもっか」の取り組みについて
- 学びの多様化学校 京都市立洛友中学校の取り組み
- 困難を抱える子どもの早期発見と支援につなげる取り組み



産業環境常任委員会

農地集約の推進 農業の担い手確保

11月13日から15日にかけて、宮城県角田市、栃木県小山市、福井県三方上中郡若狭町を視察しました。

視察内容

- 角田市西根地区における農地の集積・集約の取り組みについて
- コミュニティバス「おーバス」の取り組みについて
- 合葬墓について
- 農業の担い手確保に向けた取り組みについて(かみなか農楽舎)



代表質問



2月通常会議では、各会派の代表者5人が質問しました。

代表質問とは
 新年度当初予算を審議する会議（2月通常会議）および市長が就任して初めての会議で、会派の代表者が市政や市の教育方針について質問を行うものです。また、会派に所属する議員が関連する事項について質問をします。



北上まほろばクラブ



代表質問者
 北上まほろばクラブ
 三宅 靖 議員



大学設置についての議論を

Q 大学設置に係る財政費用などを精査すべきでは。
A 現在の運営費試算には専門的な機器類の更新費は見込んでいないが、計画が進んでいった段階で精査していきたい。建設費については、中長

Q 階の予算計上は6月ではなく、もっと議論を尽くしてからにすべきでは。
A 今までも46回、地域や団体へ説明してきた。基本構想がまとまった後も説明は続けていくが、国の理系人材養成の補助金

Q モバイルクリニックのコスト低減策は。
A 今のところ1件当たり約44万円のコストが掛かっている。低減策は、委託業務の一部をこれまでの事業者から市内事業者へ切り替

Q デジタル新聞閲覧の狙いは。またNIE導入による教員の負担増の懸念は。
A 4年生から6年生までの端末に新聞を閲覧できるアプリを導入するもので、子どもたちの読解力などの向上を狙う。導入

その他の質問
 ・米価対策と農業施策について
 ・教育行政の推進体制について
 ・小学校の通学支援について
関連質問者
 平野 明紀 議員

Q 期的な財政見通しを精度を上げて示す必要がある。ただし、20年後まで見渡す事は難しいので、予測できる範囲で示したい。
A 大学設置基本構想がまとまってから市民への説明は。次の段



申請が秋頃となる事も考慮して、次への予算計上の時期は考えたい。

Q 1人1台端末によるNIE（教育に新聞を）の推進は。
A えることで、コストの低減および現場対応の効率化を図ることができないか検討している。

Q 令和7年度から新たに設置する集落支援員とは。
A 和賀・川東地域から地域で取り組みたい事柄を募り、事柄に取り組み集落支援員を公募・選考の上、委嘱し、支援室と連携して課題解決に取り組む。

その他の質問
 ・「子育て寄り添いプロジェクト」について
 ・「健康と安心の地域づくり推進」について
 ・「モバイルクリニック事業」について など
その他の所属議員
 千田 優子 議員
 白鳥 顕志 議員
 八重樫 民徳 議員
 佐々木 護 議員
 梅木 忍 議員

新清会



代表質問者
 新清会
 藤原 常雄 議員



大学設置に関して策定委員会の意見は

Q 大学は地域に夢と希望を与えるとは。基本構想策定委員会で、大学は地域に夢と希望を与えるという意見を頂き「ひとつくじ」と「まちづくり」が両輪となり「新しい価値づくり」という、市が考える大学設置の方向性と一致するもの。
A 大学の必要性とは。大学院の必要性は優秀な教員が集まらない、交換留学や海外から優秀な学生を呼ぶ際、大学院だと来てくれる。
Q 優れたやる気のある

Q 高校生の受け皿となる、今までの大学と違う大学を目指すべきでは。
A 進学校出身の学生だけでなく、実業高校出身の学生にも門戸を開き、意欲ある学生、探求心旺盛な学生に多く集まって欲しい。また特徴ある教育による「尖った大学」を目指す。

Q 市長の市政運営方針より
 クマ・シカ・イノシシなどによる農作物の被害防止のため、地域とどのように連携して対策を強化していくのか。
A 地域の方々との情報交換や現地確認とあわせて専門家からも定期的な助言を頂き、農作物被害対策やクマとの不意の遭遇による被害を防ぐための刈り払いや放任果樹の伐採など、生息環境の管理を進めて行く。

Q 令和7年度から新たに設置する集落支援員とは。
A 和賀・川東地域から地域で取り組みたい事柄を募り、事柄に取り組み集落支援員を公募・選考の上、委嘱し、支援室と連携して課題解決に取り組む。

その他の質問
 ・「子育て寄り添いプロジェクト」について
 ・「健康と安心の地域づくり推進」について
 ・「モバイルクリニック事業」について など
その他の所属議員
 齊藤 金浩 議員
 居駒 勉 議員
 藤田 民生 議員
 高橋 晃大 議員
 佐藤 恵子 議員



代表質問者 安部 壽美子 議員



物価高騰から 住民の暮らし支える施策を

米ひとめぼれ10kg 6500円、キャベツ1玉400円など、食料品の高騰が家計を圧迫している。学校給食費無償化を実施すべきでは。

物価高騰による食料高騰分の支援を行っているが、完全無償化は考えていない。国が令和8年度小学校給食の無償化実現を発表したことから動向を注視する。

国保税就学前の子ども均等割1万3300円の廃止は193万円の財源で可能。子育て支

援策として実施すべきでは。

国保の財政見直しは歳出が歳入を上回り基金の枯渇も見込まれることから、子ども均等割廃止は考えていない。

低所得・生活保護世帯へごみ袋無料配布は。ごみ排出量に応じた処理費用の応益負担を原則とすることから、無料化の考えはない。

農業の強固な経済基盤の確立を

昨年の「令和の米騒動」は、農業の再生食料の安定供給の重要性を示した。農業従事者確保や農業の役割への見解は。担い手確保のため「農業人フェア」での情報提供のほか、新規就農者の経験受け入れ農家紹介、親元就農支援を実施。農業は食料の生産・供給のほか、地域コミュニティ形成の役割などを担う重要な産業である。



農産物の販売促進のため、農業者がネット販売する際の輸送費補助を実施し、農業者の所得増を実現する考えはないか。

農産物は基本的に生産者が販売するものであり、ネット販売に対する行政の関わり方は、他市の取り組み事例を情報収集し、市産業ビジョンの中間見直しに合わせ調査・研究していく。

核兵器廃絶に向けた取り組みについて

不登校児童・生徒への支援について



その他の質問

・2025年問題について

・ジェンダー格差の解消について

・北上市立大学設置について

・特別支援学校高等部分教室の設置について

その他の所属議員 田島 清美 議員 高橋 久美子 議員



代表質問者 高橋 孝二 議員



大学設置の目的が 破綻しているのでは

市は大学設置の目的を①半導体関連の人材確保②若者の流出を防ぐ③まちのにぎわいの創出と説明した。県の半導体関連人材育成施設が4月に開設され、今後若者の流出は増加をたどり、大学卒業後に

制・流入促進や賑わいの創出、人材育成・確保といったまちの課題解決の手段の一つと説明しており、「新しい価値づくり」の考えに変わりにない。大学のあるまちの様々な効果も当初から言及してい

地元に残る学生も数%と予想されている。百貨店誘致による再開発も倒産や撤退でこの地域のにぎわいを年々減少させている。この流れをどう分析されるのか。当初から一貫して大学を若者の流出抑

た。大学を人口減少時代の生き残り戦略として、役割を果たす意義を改めて確認している。



学校におけるイジメ問題の再発防止策は

令和5年度に発覚した市内の学校におけるイジメの「重大事態の件」について、これまでの経過と現状は。また第三者委員会が設置され

ているようだが、結論はいつ頃になるのか。さらに、一般の重大事態の件を含めて「学校におけるイジメ問題」について教育委員会および学校現場の対応の反省点と今後の再発防止策を具体的に示して

はどうか。

その他の質問

・本通り二丁目地域の再開発事業計画について

・教育委員会とそれぞれの学校現場における教職員へのDX、AIについての対応方針

その他の所属議員 原 利光 議員

太田 洋市 議員



代表質問者 阿部 眞希男 議員



市立大学実現の課題について

基本計画策定のスケジュール、学長以下スタッフの選任は。

現在、基本構想策定に注力し、設置の最終判断、庁内意志決定の後、具体的検討に着手する。学長、教員、事務スタッフの人選は市立大学成功の鍵であり、学生の安定的確保に向け、これまでの人脈、関係機関との連携で、最大限の努力が必要となる。

建設スケジュールと開学までのロードマップの整合性は。開学時期は早くて令

和12年4月、準備期間は5年間、タイトなスケジュールだが実現可能である。「市立大学法人」設立の運営メリットは。市のメリットとして教職員の非公務員化、校舎の法人所有によって人事や校舎の管理が不要となる。大学側としても、学長のリーダーシップにより迅速、柔軟、戦略性ある独自の運営が可能となる。

外国人労働者急増への対応について

日本語教育体制強化の具体策は。

交流センターでの日本語教室を6月頃より予定するとともに、外国人受講生をサポートする日本語教室パートナーを養成する研修会も開催していく。

市内横断的な外国人市民への対応強化について。

市長、副市長、教育長、各部長で構成する「多文化共生推進本部」を、外国人と



その他の質問

・北上駅西口から本通り地区までの再開発について

・「不登校・いじめ」の児童・生徒増加対応について

その他の所属議員 藤原 慶 議員 小田島 徳幸 議員

一般質問

今を大切にすることは未来を大切にすること



千田 優子 議員

全学校に安心の居場所を！
部活動地域移行は？

市内全校に校内教育支援センターを設置する考えはないか。

不登校傾向にある児童がいない5校を除く市内小中学校に支援センターを置いている。現在の居場所を工夫しながら継続していく。部活動地域移行の市の指針が必要ではないか。

今年度試行した仕組みを来年度も行っていく。アンケートを実施し、その結果を基に学校長や関係団体と協議し、令和8年度の本格実施に向けて取り組む。



- 今回の質問
- ① 不登校傾向にある児童生徒の校内の居場所の設置について
 - ② 中学校部活動地域移行（地域展開）について

地域づくりに有機農業を活用しよう



齊藤 金浩 議員

有機米作付け促進交付金の創設は出来るか

オーガニック・エコ推進事業の成果と反省点は。

成果は有機農業者同士のつながりができたことや、専門知識の習得ができたことなどである。反省点としては、生業としての有機農業の拡大に繋がらなかったことである。当市独自の有機米作付け促進交付金の創設について。

小規模農家に対して各種補助メニューを用意していることから、現時点では考えていない。



- 今回の質問
- ① 有機農業の推進について

在宅介護を支える人的基盤の確保は重要



田島 清美 議員

訪問介護の経営を支える
独自の支援を！

2024年から2026年の「第9期介護保険事業計画」で介護事業の基本報酬が2%〜3%引き下げられた。減収により、現在中小訪問介護事業所の多くが不採算である。市として支援するべきと考えるがどうか。

国が定めるものに従うことが望ましく、介護現場の実態や適切な介護報酬となるよう全国市長会などの場を通じて、引き続き国へ要望していく。



- 今回の質問
- ① 介護事業所継続の支援について

地域の困りごとにもっとよりそう姿勢を！



平野 明紀 議員

自治会・市民活動への
支援強化が必要ではないか

自治会など、地域の活動が困難になる事例が出てきているが、この状況をどう捉えるか。

文書配布や地域の施設管理など、人口減少や高齢化、自治活動に参加する住民の減少により、業務の維持が困難になっている。

限られた財源の中で、持続可能なまちづくりに向けた課題をどう考えるか。地域課題の変化を捉え、やり方を変える柔軟な姿勢が大事と考える。



- 今回の質問
- ① 市民との連携、協力によるまちづくりについて
 - ② 子どもを性的被害から守るために
 - ③ 自転車の安全利用の推進について

ジェンダー問題は「自分ごととして」



高橋 久美子 議員

ジェンダーギャップ解消を
目指して

女性の社会進出を阻むと言われる、家事育児、自宅で介護が必要な場合の主な担当。長年に渡る無意識に染み付いた固定観念を取り除いていく必要があるのでは。

性別による固定的な役割分担意識を解消し、誰もがあらゆる場において自分の生き方を選択できる環境づくりのため、男女共同参画のイベントや講座、研修会、産前教室など機会を捉えて啓発活動を引き続き実施していく。



- 今回の質問
- ① 小規模事業者への支援を
 - ② ジェンダーギャップ(*)解消を目指して

*ジェンダーギャップ：男女の違いにより生じる様々な格差。

6次産業化に女性が参加しやすい環境に！



小原 享子 議員

北上産農産物の
6次産業化推進を！

6次産業化に取り組む人材育成、農商工のマッチする機会の創出は。

産業支援センターや農業支援センターの相談体制の強化で、必要な支援や情報提供に取り組んでいる。また、首都圏との「リモート商談会」で、商品開発、販路拡大の支援も行っている。今後も農商工連携を推進する。令和7年度に北上市産業ビジョンの中間見直しで、農業者などのニーズの把握、新たな施策を調査研究する。



北上産を示すシール

- 今回の質問
- ① 農業における6次産業化の推進について
 - ② 避難所となる学校体育館の空調設備の整備について
 - ③ からだとこころの健康を守るプレコンセプションケアについて

超高齢化社会には大学より福祉充実でしょ！



星 敦子 議員

2040年問題を
市民との協働で乗り切ろう！

2040年に超高齢化社会が到来し、インフラ整備や行政サービスが危ぶまれるが備えは。

他市と比べ、当市の人口減少幅は緩やかだが、人口ビジョン改定と分析結果を後期総合計画に反映させていく。

人口減少に伴い社会が縮小する中で大学の設置は、まちづくりの優先順位として妥当か。

大学設置による企業の経済活動の維持・発展が税收確保と市民サービス提供の手段と考える。



- 今回の質問
- ① 2040年問題の捉え方と備えについて

災害が起きたら近所同士で助け合おうよ！



熊谷 浩紀 議員

避難行動要支援者に
実効性のある個別計画を

ひとり暮らしの障がい者や難病者など、支援者がいない場合や逃げる手段の確保についての取り組みは。

浸水想定区域及び土砂災害警戒区域に住む避難行動要支援者の個別避難計画の策定を進めてきた。令和7年度は避難行動要支援者本人の心身の状況を考え、重度の障がい者や難病者の個別避難計画を優先的に作成することにより、避難手段や避難先など、実効性のある計画を進めていく。



- 今回の質問
- ① 「災害ケースマネジメント」について
 - ② 独居の障がい者、難病者の移動手段の確保について
 - ③ 防災・減災の取り組みについて



- 広報委員会**
- 委員長 梅木 忍
 - 副委員長 熊谷 浩紀
 - 委員 藤原 慶
 - 委員 白鳥 顕志
 - 委員 田島 清美
 - 委員 原 白鳥
 - 委員 齊藤 金浩
 - 委員 佐藤 利光
 - 委員 恵子

ちょっとブレイク！ VOL.4



やまねやまぶし
山根山伏神楽 (相去)

～消えかけた神楽の灯が再燃！～



おいばやしゆうき

山伏神楽とは羽黒山（山形県）の修験者が始めた神楽である。

長らく中断していた相去町の山根山伏神楽が見事に復活を果たした。



インタビューを受けてくれたのは東京在住の老林優希さん（29歳）。

優希さんは以前、北上市職員として図書館や鬼の館に勤務していた。勤務時代に、先代の山根山伏神楽の方から『復活は、もう無理なので、権現様を鬼の館に寄贈したい』という申し出があった。

その瞬間、優希さんは何かに突き動かされるように、こう切り出した。

『私が舞いを踊るので教えていただけませんか？』

優希さんは岩崎地区で外島神楽を舞う母の姿を映像でよく観ており、幼心にも深い感銘を受けていた。そして優希さんの祖父は、かつて中断した外島神楽を苦勞して復活させたメンバーのひとりだった。神楽の復活に関わることになったのは単なる偶然ではなく、老林家のDNAに導かれてのことだったのだ。現在、優希さんは神楽のために東京と北上市を往復している。山根山伏神楽は、活動の甲斐あって6人の踊り手がそろい、小学生も参加するようになった。消えかけた神楽の灯が、まさに今、再燃し始めている。



『いつかは幕を張って、ストーリー性のある幕神楽の演目を習得したいです。』

優希さんの瞳がキラリと輝いた。（梅）



北上市議会公式SNS

多くの市民の皆さまに議会の情報をお届けするため、北上市議会公式SNSで各種情報を発信しています。ぜひフォローなどをお願いします！



Facebook



Instagram



Threads



X(旧Twitter)

より良い紙面づくり、また、今後の議会活動の参考とするため、皆様のご意見・ご感想を募集しています。



「意見・感想はこちらから」

6月通常会議の日程
— 議会を傍聴しませんか —

日	月	火	水	木	金	土
8	9	10	11	12 初日	13	14
15	16 常任委員会	17	18	19 一般質問	20	21
22	23 一般質問	24	25	26	27 最終日	28

いずれも午前10時から開催予定です。中学生以上であれば誰でも傍聴できます。委員会を傍聴する場合は、議会事務局で受付をお願いします。